

# CSDB

Chugoku-Shikoku Defense Bureau

中国四国防衛局広報誌



中国四国防衛局

Vol. 71

Mar. 2026

# 目次 Contents

- 2 日米交流事業「日米交流合同コンサート」(山口県岩国市)
- 日米交流事業「新春日米交流書き初め会」(山口県和木町)
- 5 令和7年度 中国四国防衛局長感謝状贈呈
- 6 安心・安全共同パトロール(山口県岩国市)
- 7 防衛施設周辺対策事業について
- 8 令和7年度 若手事務官合同研修
- 9 自衛隊等特有の施設の建設工事～調達部の業務紹介
- 11 第85回 岩国飛行場藻場・干潟回復調査研究委員会
- 12 令和7年度 中国四国防衛局防災訓練  
令和7年度 在日米軍永年勤続表彰式
- 13 令和7年度 中国四国防衛施設地方審議会
- 14 原村演習場における米軍単独訓練の実施
- 15 中国四国防衛局 総務部のご紹介  
中国四国防衛局 職員日記(総務部会計課)



Chugoku-Shikoku Defense Bureau



中国四国防衛局

Vol. 71

Mar. 2026

編集・発行  
中国四国防衛局  
(広報委員会編集)

〒730-0012  
広島県広島市中区  
上八丁堀6-30

Tel  
082-223-7109

中国四国防衛局HP



中国四国防衛局  
広報  
X(旧Twitter)  
@chushiDB\_koho



## — 令和7年度日米交流事業 — 新春日米交流書き初め会 令和8年1月10日(土)



## IWAKUNI 日米交流合同コンサート 令和8年2月21日(土)



表紙について

令和8年2月21日(土)  
令和7年度日米交流事業  
「IWAKUNI 日米交流合同コンサート」





## 日米交流事業「日米交流合同コンサート」(山口県岩国市)

令和8年2月21日、シンフォニア岩国において、「IWAKUNI 日米交流合同コンサート」を岩国市、岩国市教育委員会、米海兵隊岩国航空基地及び当局の共催により開催しました。

今回で15回目を迎えたコンサートは、福田岩国市長、ロスマン米海兵隊岩国航空基地司令官をお迎えし、岩国市立麻里布小学校、和木町立和木小学校、周防大島町立東和小学校、大竹市立小方中学校、高水学園高水高等学校・同付属中学校、M.C.ペリー・ハイスクール、イワクニ・ミドルスクールの児童生徒約260名が集まり、それぞれが一生涯懸命に練習してきた成果と、共に練習してきた日米共演を披露するとともに、日米交流を楽しみました。



各校のパフォーマンスの後、最後を飾ったのは、参加者全員参加による「アンパンマンのマーチ」。合奏と合唱の素晴らしいパフォーマンスに、会場は大いに盛り上がり、来場者から惜しみない拍手が送られました。

コンサート終了後の懇親会では、踊ってふざけたり、写真を撮り合ったりする姿も見られ、日米の子供たちの友好がますます深まったようでした。



IWAKUNI U.S.-Japan Friendship Concert in IWAKUNI 日米交流合同コンサート



当局では、今後も米海兵隊岩国基地の周辺地域の方々と米軍人・軍属及びその家族との相互理解を図ることを目的として、引き続き日米交流事業を実施してまいります。

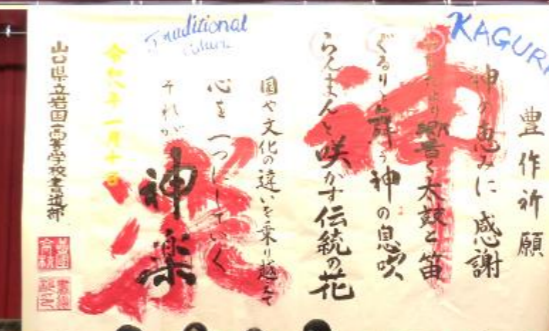


## 日米交流事業「新春日米交流書き初め会」(山口県和木町)



令和8年1月10日、和木町立和木小学校において、今回で7回目となる「新春日米交流書き初め会」を和木町、米海兵隊岩国航空基地及び当局の共催により開催しました。

当日は、坂本和木町長、ロスマン米海兵隊岩国航空基地司令官をお迎えし、和木町内の児童たちと米海兵隊岩国航空基地ガールスカウト、カブスカウトパック77に所属する児童約30名が集まり、山口県立岩国高等学校書道部による大筆を使ったパフォーマンス、山口県立岩国高等学校坂上分校神楽クラブ、山代白羽神楽保存会の皆さんによる太鼓や笛の音に合わせて踊る神楽のパフォーマンスに、日米の子供達と保護者等は圧倒されるとともに、喝采を送っていました。



イベントの後半では、日本の正月遊びである凧揚げや羽子板、けん玉などをみんなで見ました。

参加した日米の子供たちからは「楽しかった」「もっと遊びたい」「新しい友達ができた」といった感想が多く聞かれるなど、大盛況でした。



和木町長 坂本 啓三



日米交流事業の情報については、中国四国防衛局ホームページでご確認ください。



## 令和7年度 中国四国防衛局長感謝状贈呈



(米本正明 前山口県和木町長)



令和7年11月25日、深和局長は、米本正明前山口県和木町長に対して局長感謝状を贈呈しました。

米本前町長におかれては、平成25年8月に和木町長に就任されてから令和7年9月に退任されるまで約12年間の長きにわたり、我が国の防衛政策に関して、理解と協力を示され、岩国飛行場の安定的使用に多大な貢献をされました。当局局長より、長年のご尽力に敬意を示すとともに、その貢献に感謝の意を表しました。

### 米本正明 前和木町長からひとこと

このたびは名誉ある感謝状をいただき、大変光栄に存じます。  
これからも和木町の内外で国防や自衛隊への理解がより一層深まるよう、地域の中から協力して参りたいと思っております。



(伊達憲太郎 鳥取県境港市長)

令和7年11月26日、深和局長が境港市役所を訪れ、伊達憲太郎市長に対して局長感謝状を贈呈しました。

伊達市長におかれては、就任以来、航空自衛隊美保基地及び陸上自衛隊美保分屯地の安定的な運用の確保のため、市として自衛隊に対する協力体制の環境づくりに努められ、防衛省・自衛隊と住民の皆様の良好な協力関係の確保に尽力されてきたことから、このたび、当局局長より感謝の意を表したものです。

### 伊達憲太郎 境港市長からひとこと

このたびは、栄誉ある感謝状を賜り、心より光栄に存じます。  
日頃より地域の安全・安心の確保に尽力されている自衛隊の皆様へ改めて深く感謝申し上げます。本市といたしましても、自衛隊の活動に対する市民の理解が一層深まるよう努めるとともに、今後もさまざまな分野において連携を強化し、安全で安心して暮らせる境港のまちづくりを進めてまいります。



(入山欣郎 広島県大竹市長)

令和7年12月11日、深和局長は、入山欣郎広島県大竹市長に対して局長感謝状を贈呈しました。

入山市長におかれては、平成18年6月に市長に就任されて以来、我が国の安全保障政策に対し深い理解と協力の姿勢を示されるとともに、岩国飛行場の安定的使用に多大な貢献をされてきたことから、このたび、当局局長より感謝の意を表したものです。また、当局局長から、引き続き、同飛行場の安定的使用に向けご理解とご協力をお願いしたい旨伝えました。

### 入山欣郎 大竹市長からひとこと

この度は、感謝状をいただき、大変光栄に存じます。  
国民に国防の重要性を理解してもらうこと、特定地域の住民が全国民を代表して我慢せざるを得ないことを理解してもらうことは大変難しいことです。これからも基地と共存していく中で、お互いの信頼関係を保ちながら、安心安全なまちづくりを進めていきたいと考えています。



## 安心・安全共同パトロール(山口県岩国市)

令和7年12月12日夜、週末を楽しむ人たちが賑わう岩国市の繁華街(川下地区、麻里布地区)において、福田岩国市長、相本山口県民局長、ロスマン米海兵隊岩国航空基地司令官、阿部海上自衛隊第31航空群司令部首席幕僚、川下地区・麻里布地区の防犯パトロール隊の方々及び深和局長の総勢約70名による「安心・安全共同パトロール」を行いました。



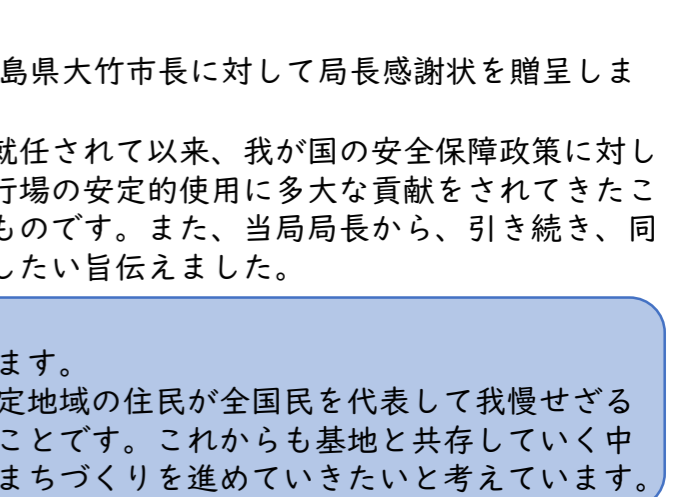
### 共同パトロール

岩国市に住むすべての人々が、くらしやすい安心・安全なまちづくりを推進するため「自らの地域は自らが守る」という連帯意識のもと、市民と行政と基地関係者が協働して防犯活動を進めることとして平成21年に始まり、今回で15回目となります。

当日は、通行人や訪ねた店舗内の来店者に声をかけ「私たちは、岩国市に住むすべての人々が『くらしやすい安心・安全なまち』を目指しています」というメッセージとTSUNAGUNが書かれたポケットティッシュを配り、防犯を呼びかけました。



岩国市米国ホストタウンマスコットキャラクター「TSUNAGUN」



麻里布地区の繁華街をパトロールする(前列右端から)福田市長とロスマン司令官(後列右端から)阿部首席幕僚と深和局長



麻里布地区の繁華街食店で来店者に声をかける(右端から)ロスマン司令官と福田市長と深和局長



## 防衛施設周辺対策事業について



中海スポーツパーク  
(オープンセレモニー)

島根県松江市は、防衛施設の設置又は運用による障害を緩和するため、令和4年度から地域社会活性化と市民の皆様がスポーツに親しむことができる場として、中海スポーツパークの整備を進めてきました。

本施設には、防衛省の補助金制度（民生安定施設整備事業）が活用されており、松江市が補助事業者（事業主体）として、総事業費約9億50百万円（うち防衛省補助約6億33百万円）により整備された施設です。

岡山県勝田郡奈義町は、「生まれてから亡くなった後も安心できる町」として、岡山県内初の町営の共同墓を整備しました。少子高齢化や核家族化等により、多様化するお墓のニーズに対応するため、新たなお墓の選択肢として期待されています。

本施設には、防衛省の特定防衛施設周辺整備調整交付金が活用され、奈義町が補助事業者（事業主体）として、総事業費約35百万円（うち防衛省交付金約29百万円）により整備された施設です。



奈義町共同墓  
(除幕式)

今後も中国四国防衛局では、防衛施設と地域社会の調和を図り、防衛施設周辺における地域住民の方々の生活環境の改善や福祉の向上に寄与するために、各種施策の実施に取り組んでまいります。



### 防衛施設と地域社会の調和を図る施策



パンフレット画像：防衛省HP「防衛省の取組」より転載  
<https://www.mod.go.jp/j/approach/chouwa/sesaku/pamphlet.html>



## 令和7年度 若手事務官合同研修

令和7年12月1日～2日、海上自衛隊第1術科学校、幹部候補生学校及び岩国市内において、令和7年度若手事務官合同研修を実施しました。

本研修は、当局、海上自衛隊及び航空自衛隊で働いている若手事務官を対象に防衛局や各部隊の組織や業務内容に関する基礎知識を付与し、若手事務官同士の交流を図ることにより、防衛局と各部隊相互間の人材交流を円滑に行うことを目的に毎年度実施しているものです。

初日は、江田島市の海上自衛第1術科学校及び幹部候補生学校で、研修生同士が組織や業務内容を説明し合い、意見交換を行った後、自衛隊施設の研修を実施しました。



【海上自衛隊第1術科学校、幹部候補生学校 業務説明、意見交換会、現地見学】

翌日は、岩国市内の航空機騒音測定器や防衛省民生安定助成事業により整備された施設の見学を行いました。

研修生からは「実際に勤務する職員から業務内容や職場の雰囲気を聞き、人材交流のイメージを具体化できた」「それぞれの業務の違い、共通点を知ることができ、人材交流への関心が高まった」などの意見が寄せられました。



【防衛省民生安定助成事業 現地見学】





## 第85回 岩国飛行場藻場・干潟回復調査研究委員会

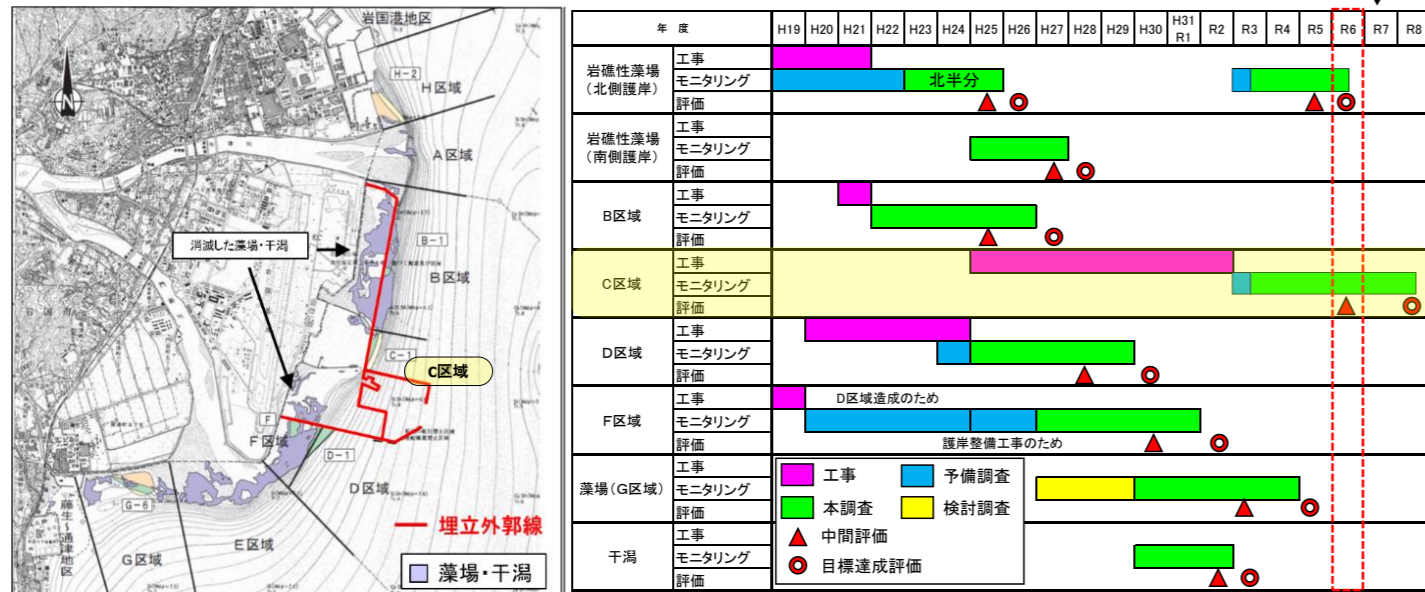
令和7年11月20日、広島市内において第85回 岩国飛行場藻場・干潟回復調査研究委員会を岡田委員長（広島大学名誉教授）ほか3名の委員の出席をいただき開催しました。

今回の委員会では、令和7年1月から同年6月までの周辺藻場・干潟回復事業のモニタリング調査の結果、並びに令和6年度の藻場・干潟回復事業の一年を通しての進捗状況及びモニタリング調査結果（図-2の赤点線）について審議されました。その審議において、C区域は、一年間を通してアマモの生育可能条件を概ね満たし、またアマモ場の株密度・被度は天然藻場と概ね同様な変動を示していたなどの報告を行い、承認されました。

（※ 当局HPに、これまでの審議概要を掲載しています。）



【写真 第85回 岩国飛行場藻場・干潟回復調査研究委員会の審議状況】



【図-1】

【図-2】

### 委員会経緯

当局は、岩国飛行場の運用、安全及び騒音上の問題を解決し、米軍の駐留を円滑にするるとともに、同飛行場の安定的使用を図るため、平成4年度に滑走路を沖合へ1,000m程度移設する岩国飛行場滑走路移設事業を推進することとなりました。これに伴い、海面の埋立事業を行うための滑走路移設事業の承認にあたって、山口県知事から「本埋立事業の実施により、藻場及び干潟が一部消滅することから、専門家の指導、助言を得て、本埋立計画地周辺海域において、最大限、新たに藻場及び干潟の造成に努めるとともに、藻の定着状況及び干潟の形成状況を計画的に監視する等により極力維持に努めること。」との意見が出されました。

これを受け滑走路移設事業の実施に伴う藻場・干潟の回復措置の対策に必要な指導・助言を行うことを目的として、有識者で構成された岩国飛行場藻場・干潟回復調査研究委員会が平成8年8月に設置されました。

#### 本委員会の審議内容

- ◇ モニタリング調査、試験の実施計画の策定に関すること。
- ◇ モニタリング調査及び試験の結果の評価、研究に関すること。
- ◇ 回復場所（工事も含む）、範囲及び時期に関すること。
- ◇ 埋立の実施に際し残存する藻場・干潟の保全に関すること。



## 令和7年度 中国四国防衛局防災訓練

令和8年1月26日、当局管内における南海トラフ地震発生を想定した、防災応急対処訓練を実施し、「緊急事態等における中国四国防衛局の対応要領」及び「緊急事態等における中国四国防衛局の対処マニュアル」の実効性を検証するとともに、大規模災害発生時における当局の事態対処について確認しました。

当局は、大規模震災が発生した場合、防衛省・自衛隊による災害対策に関する措置を円滑かつ効果的に実施されるよう、派遣支援本部を設置するとともに、各地方公共団体に設置された災害対策本部に連絡要員を派遣し、自治体、警察、消防などの関係機関・組織と連携して情報収集とを情報共有を行います。



災害派遣本部の状況

実際に大規模災害が発生した際に起こりうる問題などを想定した課題に対処していくことで、事態対処における問題点が明らかになり、更なる円滑かつ効率的な体制整備に有効な訓練となりました。

緊急登庁訓練では、午前7時に高知県にて震度7の地震が発生し、広島合同庁舎周辺の道路の破損や渋滞等により交通機関による参集が困難であるとの想定のもと、自宅から徒歩で庁舎へ参集しました。

また、被災した自衛隊の災害派遣・災害対応の拠点となる自衛隊施設への施設整備調査チーム派遣の訓練も行い、自衛隊施設の早期復旧に必要な体制を確認しました。



自衛隊施設へ向かう施設整備調査チーム



## 令和7年度在日米軍永年勤続表彰式

令和8年1月28日、米海兵隊岩国航空基地で勤続40年、30年、20年及び10年を迎えた106名の在日米軍従業員を対象とする永年勤続者表彰式を開催し、深和局長及びフェデリコ・メンディザバル基地司令部司令中隊司令官から表彰状と記念品が授与されました。

主催者の深和局長、フェデリコ・メンディザバル基地司令部司令中隊司令官及び来賓の方々から長年の貢献に対する感謝とお祝いの言葉が贈られ、被表彰者代表から「この意義ある式を糧として、これからも在日米軍施設の円滑な運営のため、従来にも増して職務の遂行に励み、一致団結して日米両国の架け橋としての役割を果たして参ります」と謝辞が述べられました。

今回、永年勤続者表彰を受けられた方々には、日頃、日米の架け橋として職務に精励されていることに敬意を表しますとともに、今後も、より一層御活躍いただくことを祈念します。





## 令和7年度 中国四国防衛施設地方審議会

令和8年2月4日、航空自衛隊防府北基地において、中国四国防衛施設地方審議会が開催され、神津直会長（中国化薬株式会社 代表取締役社長）、大宅富美江委員（広島行政書士会 苦情処理センター長）、永山博之委員（広島大学法学部教授）、高木孝夫委員（広島県森林協会 常務理事）、及び及川寛委員（水産技術研究所 廿日市拠点長）、当局から、深和局長ほか幹部職員が出席しました。

審議会において、深和局長から、「令和7年度防衛白書概要」について説明し、その後、各委員から関連なご質問や貴重なご意見を賜ることができました。



中国四国防衛施設地方審議会委員  
神津 会長



中国四国防衛局  
深和 局長



午後からは、各委員は航空自衛隊第12飛行教育団 宮崎剛 司令ほか同基地の幹部職員と懇談された後、概況説明を受けるとともに、T-7初等練習機、基地内施設及び建設中の工事現場の見学を行いました。

今回の視察を通じ、当該基地の任務や現状について、各委員の皆様のご理解を深めていただきました。



中国四国防衛施設地方審議会とは

中国四国防衛局長の諮問に応じて次に掲げる事項を調査審議し、及びこれらに関し必要と認める事項を中国四国防衛局長に建議する機関です。

- 不動産等に係る借料、買収等の支払額に関すること。
- 自衛隊又は駐留軍の使用により不動産等について生じた損失の補償額（返還補償、漁業補償、特別損失補償、周辺補償等）及び返還する場合における利得の求償額に関すること。



## 原村演習場における米軍単独訓練の実施

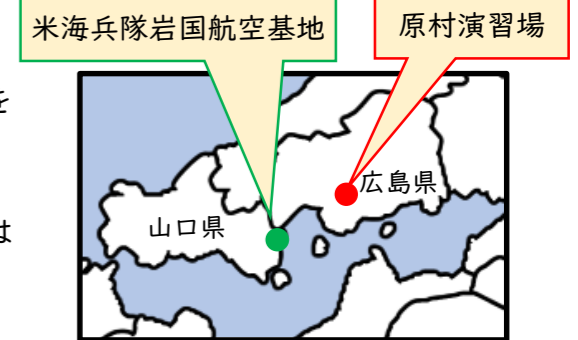
令和7年12月2日から8日までの7日間、米海兵隊岩国航空基地を拠点とし、主に飛行運用の支援を行う海兵第171航空師団支援中隊は、広島県東広島市に所在する陸上自衛隊原村演習場において、単独訓練を実施しました。

本訓練は、平成3年8月に初めて実施されて以降、今回が57回目であり、今回の訓練では、演習場区域における一般訓練（ヘリパッド用マット敷設訓練、重機操縦訓練等）が実施されました。

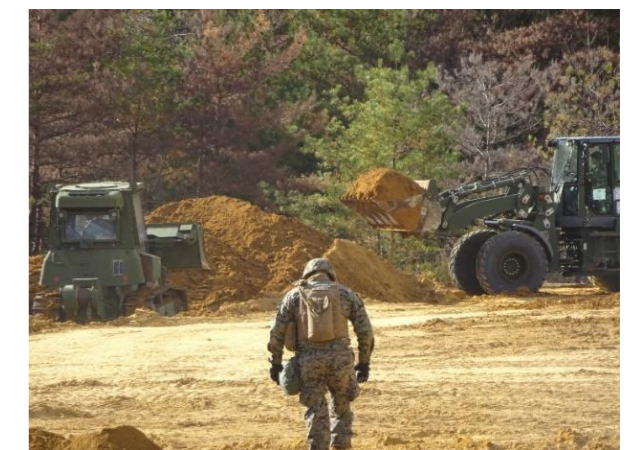
当局は本訓練実施に関し、訓練実施期間及び内容等を関係自治体等へ通知し、訓練期間中においては、職員を連絡員として現地に派遣し、米軍や自治体との調整や連絡など所要の対応を行いました。

深和局長は、米側の訓練責任者の案内の下、訓練の状況を視察し、訓練が安全に実施されていることを確認しました。

訓練部隊は、期間中、最大限の安全確保等を行い、訓練は目的を達成し、岩国航空基地に無事に帰還しました。



ヘリパッド用マット敷設訓練



重機操縦訓練



深和局長による訓練視察



## 中国四国防衛局 総務部のご紹介

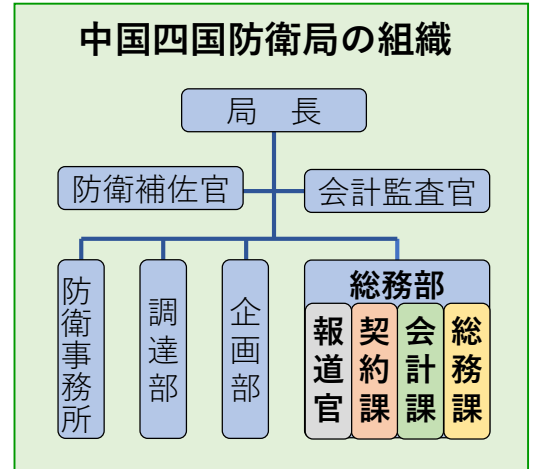
総務部は、総務部長の下に、総務課、会計課、契約課及び報道官の3課1官で構成されており、局内事務の総合調整、人事管理、会計・契約業務、情報公開、広報などに関する業務を行っています。

総務課：当局の総合窓口であり、文書の管理や審査、職員の採用や人事管理、福利厚生や保健衛生、情報システムの管理、情報公開に関する事務、自衛隊の部隊等との連絡調整を行っています。

会計課：当局の業務に係る経費及び収入の予算・決算及び会計に関する事務、職員の給与、旅費の支給に関する事務、庁舎等の管理、物品の管理等の事務を行っています。

契約課：当局が実施する建設工事等に係る入札の公告・執行・契約に関する事務、入札参加を希望する建設業者等の競争参加資格の審査窓口、入札・契約の適正化のため設置されている第三者機関である入札監視委員会の庶務等を行っています。

報道官：当局に対するご意見、問い合わせ等の対応、関係部署との連絡調整、局広報誌の編集・発行や局ホームページの更新など、当局の広報活動を行っています。



採用説明会（総務課）



納品された消耗品の確認（会計課）



契約事務に係る窓口業務（契約課）



## 中国四国防衛局 職員日記（総務部会計課）



### ○職場の雰囲気

困ったことがあっても相談しやすく、安心して業務に取り組むことができます。

業務の合間には、最近の出来事や広島最新のスポットなどを共有したりと和気あいあいとしています。

私たちは、会計課に配属されて1年目になります。今までの部署とは違った業務で慣れない点もありますが、日々勉強しながら業務に取り組んでいます。会計課には5つの係があり、それぞれの業務が密接しているため、日頃から些細なことでも情報共有することを心がけています。

### ○総務係員

主に予算管理や会計機関に関することを担当しています。万が一誤りがあり予算が不足してしまうと、職員への給与や工事費等の支払いを行うことができなくなってしまうため、各担当者と緊密な調整を行いながら業務を進めています。

### ○会計係員

主に、職員の給与の支給内容、旅費の請求内容が適切であるかの確認や支払の連携作業などを行っています。法改正やイレギュラーなことへの対応は試行錯誤の連続ですが、その分学びも多く、やりがいのある業務です。